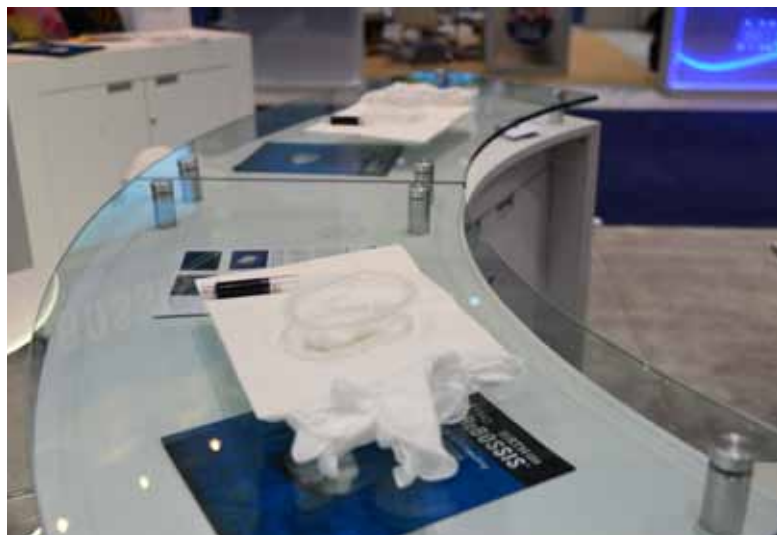




今年で31回を数えるNASSのアンニュアルミーティングの展示会。舞台はマサチューセッツ州ボストン。

前回同様、ブースには多くの医師が集まり、活況を呈しました。ReBOSSISへの関心の高さは今でも変わりません。



ReBOSSISを実際に触り、血液（擬似）との混ざり具合を体験できるのもいつものブースの特色です。

ReBOSSISを使用した手術を何件もこなしているシュアート医師（中央）。臨床例は確実に増えています。



オルソリバーは国内申請に係る事業提携契約をKiSCOと結んでいますが、そのKiSCOのヨーロッパの拠点、KiSCOインターナショナルのShioji社長（右）も来訪。

NASS2016はORTHOREBIRTHの100%出資による子会社、ORTHOREBIRTH USAにとっては初の重要なイベントでした。向かって右から3番目がドリス・ブレイクCOO。